

技術・家庭科

《技術分野》

教科目標	<p>(1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
-------------	---

評価規準

評価の観点	評価規準	方法
知識・技能	・生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解している。	・授業中の学習活動 ・授業内テスト ・製作活動および製作物
思考力・表現力・判断力	・生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価し・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・授業中の学習活動 ・ワークシート ・授業内テスト
主体的に学習に取り組む態度	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。	・授業中の学習活動 ・学習に取り組む姿勢

使用教科書・教材

新しい技術・家庭科 「技術分野」(東京書籍)	1年 ガイダンス・材料加工/情報の技術 2年 エネルギー変換/情報の技術 3年 生物育成/情報の技術
------------------------	--

技術分野 学習へのアドバイス

<p>・授業で考える場面では自分の生活と照らし合わせ、自分のこととして進んで考えてみましょう。また、積極的に経験や考えを発表し、お互いの考えを共有し深めていきましょう。</p> <p>・実習での作業では、毎回の授業の課題と安全に気をつけ丁寧に進めていくことを目標としましょう。</p> <p>・授業で習った知識や技能を、日常生活の中で積極的に実践してみましょう。一人でやってできるようになることが、最終目標です。</p>
--

《 家庭分野 》

教科目標	<p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
------	--

評価規準

評価の観点	評価規準	方法
知識・技能	家族・家庭の基本的な機能についての理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	授業内テスト 授業の取り組み状況 技術の習熟状況 作品の完成度
思考・判断・表現	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	習得した技能・知識の活用 授業内状況 提出物・作品の内容 テスト 発明創意工夫展への作品
主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人と協働し、よりよい生活の実現に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	授業中の学習活動や課題に取り組む姿勢・態度 提出物

使用教科書・教材

新しい技術・家庭 「家庭分野」(東京書籍)	<p>1年 ガイダンス、食生活、消費生活</p> <p>2年 衣生活、住生活、食生活</p> <p>3年 幼児の生活と家族、食生活</p>
-----------------------	---

家庭分野 学習へのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活にするために自分で工夫したり、話し合いを通してさらに考えを深めたりしましょう。 ・実習や製作では見通しを持って取り組み、安全・整理整頓・清潔を意識して作業しましょう。また、友達と学び合いながら自分でやってできるようにしましょう。 ・学んだことを日常生活の中で積極的に実践してみましょう。
--

授業計画

【第1学年】標準授業時数 70時間

	学 習 内 容	学 習 の ポ イ ン ト
前 期	<p>《家庭分野》</p> <p>1 家庭分野のガイダンス</p> <p>2 私たちの食生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割と中学生の栄養の特徴 ・中学生に必要な栄養を満たす食事 <p>・日常食の調理</p> <p>3 私たちの消費生活と環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの消費生活 <p>・責任ある消費者になるために</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長を振り返り、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づける。中学校で習う学習内容を知る。 ・食事の役割、健康と食習慣についてわかる。 ・中学生に必要な栄養についてわかる。 ・6つの基礎食品群について理解できる。 ・1日分を考えた献立を立てることができる。 ・計量スプーンや包丁の使い方、野菜の切り方がわかる。 ・野菜や肉の調理ができる。 ・物資とサービスについてわかる。 ・店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。 ・即時払い、前払い、後払いの特徴がわかる。 ・消費生活におけるトラブルについて知り、その予防方法、対処方法がわかる。 ・消費者の権利と責任についてわかる。 ・環境に配慮した消費生活について工夫できる。
後 期	<p>《技術分野》</p> <p>1編「材料と加工に関する技術」</p> <p>1 材料と加工の技術の原理・法則と仕組み</p> <p>2 材料と加工の技術による問題解決</p> <p>3 社会の発展と材料と加工の技術</p> <p>4編「情報に関する技術」</p> <p>1 情報の技術の原理・法則と仕組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の特性とそれを生かした利用方法について理解する。 ・構造と部材を丈夫にする方法について理解する。 ・材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫を考えることができる。 ・製作に必要な図の描き方を理解し、図に表すことができる。 ・安全・適切な製作や検査・修正ができる。 ・材料と加工の技術の最適化について考えることができる。 ・これからの材料と加工の技術について考えることができる。 ・情報の特性を利用して、情報を安全に利用できる。 ・情報の安全を確保するために必要な判断や対応ができる。

【第2学年】標準授業時数 70時間

	学 習 内 容	学 習 の ポ イ ン ト
前 期	<p>《技術分野》</p> <p>3 編「エネルギー変換の技術」</p> <p>1 エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み</p> <p>2 エネルギー変換の技術による問題解決</p> <p>3 社会の発展とエネルギー変換の技術</p> <p>4 編「情報に関する技術」</p> <p>1 情報の技術の原理・法則と仕組み</p> <p>2 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解する。 ・発電の特徴と仕組みについて理解する。 ・電気機器の安全な使い方について理解する。 ・機械の保守点検の必要性を理解する。 ・エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫を考えることができる。 ・技術の見方・考え方を働かせて、問題を発見することができる。 ・エネルギー変換の技術の最適化について考えることができる。 ・これからのエネルギー変換の技術について考えることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・情報の技術がによって生活や社会がどのように変化したかを考えることができる。 ・情報の技術に込められた工夫について考えることができる。 ・安全で適切な双方向性のあるコンテンツのプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる。 ・情報処理の手順を具体化することができる。
後 期	<p>《家庭分野》</p> <p>1 衣生活と自立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常着の活用 ・日常着の手入れ ・布を用いた物の製作 <p>2 住生活と自立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいのはたらき ・健康で安全な住まい <p>3 食生活と自立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理をしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりを考え、目的に合った自分らしい着方を工夫できる。 ・衣服の正しい表示の見方や選択の仕方がわかる。 ・衣服の素材やそれに適した手入れの仕方がわかる。 ・まつり縫いができる。 ・まつり縫いやミシン縫いを活用して布を用いた物の製作ができる。 ・生活を豊かにする工夫ができる。 ・住まいの基本的なはたらきがわかる。 ・家族の安全を考えた住まい方を工夫できる。 ・災害への備えの必要性がわかり、住まいや地域における工夫を考えられる。 ・肉、魚の調理ができる。

【第3学年】標準授業時数 35時間

	学 習 内 容	学 習 の ポ イ ン ト
	<p>《家庭分野》</p> <p>1 家族・家庭と子どもの成長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちと家族・家庭と地域 ・幼児の生活と遊び ・これからのわたしと家族・地域 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭のはたらき、家庭生活と地域のかかわりについてわかる。 ・幼児の体の発達、心の発達、生活習慣、遊びについてわかる。 ・幼児に対する理解を深め、かかわり方を工夫できる。 ・家族とのかかわり方について考えられる。
	<p>《技術分野》</p> <p>2 編「生物育成の技術」</p> <p>2 生物育成の技術による問題解決</p> <p>3 社会の発展と生物育成の技術</p> <p>4 編「情報に関する技術」</p> <p>3 計測・制御のプログラミングによる問題解決</p> <p>4 社会の発展と情報の技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・育成する作物に適した環境条件を考えることができる。 ・作物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行うことができる。 ・生物育成の技術の最適化について考えることができる。 ・これからの生物育成の技術について考えることができる。 ・安全で適切な計測・制御システムのプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる。 ・情報処理の手順を具体化することができる。 ・情報の技術の最適化について考えることができる。 ・これからの情報の技術について考えることができる。

※3年生は通年で隔週授業を行う（1週目は技術であれば2週目は家庭科）